

みずほCustomer Desk Report 2024/05/13号(As of 2024/05/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	155.70
TKY 9:00AM	155.39	1.0781	167.56	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	155.90	1.0791	167.96	1.2526	0.6618
SYD-NY Low	155.27	1.0760	167.45	1.2541	0.6629
NY 5:00 PM	155.79	1.0771	167.81	1.2503	0.6597
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,512.84	125.08	日本2年債	0.3100%	0.0000%
NASDAQ	16,340.87	▲ 5.40	日本10年債	0.9100%	0.0100%
S&P	5,222.68	8.60	米国2年債	4.8709%	0.0544%
日経平均	38,229.11	155.13	米国5年債	4.5155%	0.0439%
TOPIX	2,728.21	14.75	米国10年債	4.4993%	0.0413%
シカゴ日経先物	38,215.00	▲ 245.00	独10年債	2.5180%	0.0215%
ロンドンFT	8,433.76	52.41	英10年債	4.1660%	0.0280%
DAX	18,772.85	86.25	豪10年債	4.3330%	▲0.0410%
ハンセン指数	18,963.68	425.87	USDJPY 1M Vol	8.64%	▲0.13%
上海総合	3,154.55	0.23	USDJPY 3M Vol	9.01%	▲0.35%
NY金	2,375.00	34.70	USDJPY 6M Vol	9.38%	▲0.18%
WTI	78.26	▲ 1.00	USDJPY 1M 25RR	▲0.76%	Yen Call Over
CRB指数	289.47	▲ 0.52	EURJPY 3M Vol	8.49%	▲0.25%
ドルインデックス	105.30	0.07	EURJPY 6M Vol	8.89%	▲0.15%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月10日	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q 0.6%/0.2%	0.4%/0.0%
	15:00	英 個人消費(前期比)・速報	1Q P 0.2%	0.4%
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 0.2%/0.5%	-0.5%/0.3%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	3月 0.3%/2.3%	-0.5%/1.7%
	20:30	欧 ECB議事要旨	「見通し通りにいけば、6月会合での緩和政策を開始する可能性が高い」	
	22:00	米 ボウマンFRB理事 講演	「現行の政策金利をもう少し長く据え置く必要がある」	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	5月 67.4	76.2
	23:00	米 ミシガン大学5-10年期待インフレ率・速報	5月 3.1%	3.0%
5月11日	03:15	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「インフレ低下が滞った場合は現状の政策金利を長く維持するのが適切」	
	10:30	中 PPI(前年比)	4月 -2.5%	-2.3%
	10:30	中 CPI(前年比)	4月 0.3%	0.2%

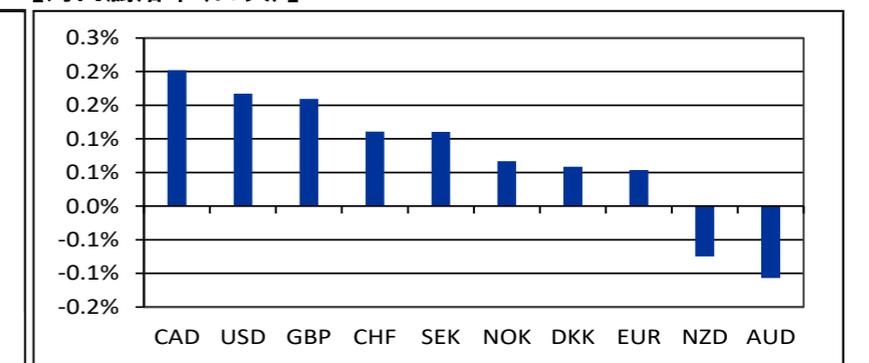
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月13日	22:00	米 ジェファーソンFRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.40~156.50	1.0750~1.0800	167.30~168.40

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円はじりじりと上昇する展開。日本時間には、五・十日に伴った買いや、クロス円の上昇を横目にドル円も堅調に推移。米国時間に入ると、複数のFRB高官によるタカ派な発言が下値を支え、一時155.90まで上昇。その後は上値重く推移し155円台後半を維持してクローズ。
 本日のドル円は155円台後半を中心にレンジ推移を予想する。先週は材料難から積極的にポジションを傾ける動きは限られたが、今週は15日(水)に米4月CPIの発表を控えている。発表待ちのムードから本日は値幅が限られた推移となりそうだ。なお、複数のFRB高官の発言機会は予定されているため、ヘッドラインには気を付けたい。

東京	155.39レベルで東京オープン、直後につけた155.37がこの日の東京安値に。上伸する日経平均や5・10日にあたることからUSD/JPYも堅調推移。正午ごろには東京高値となる155.77の高値を示現。ただその後は邦銀勢からまとまった売りが続く展開で一旦反転下落。売り一巡後は元の流れにもどる展開に155.59レベルで欧州に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.59レベルでオープン。特段の材料がない中方向感なく推移し、結局155.74レベルでNYに渡った。ポンドドルは、英第一四半期GDPが市場予想を上回り、上昇する中1.2537レベルでオープン。その流れで1.2541レベルまで買われるも、その後は勢い続かずじり安で推移し、結局1.2527レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。五・十日に伴った買いや、クロス円の上昇を横目にドル円もじり高で推移し、155.74レベルでNYオープン。午前中は155.61まで値を下げる場面もあったが、続いて発表された米5月ミシガン大学5-10年先の期待インフレ率が予想を上回った事や、ボウマンFRB理事が「現行の政策金利をもう少し長く据え置く必要がある」との認識を示すと、ドルが買い戻され、155.90まで反発。午後はカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が「インフレ低下の進展が滞った場合は現状の政策金利を長く維持するのが適切」等の発言が下値を支え、高値圏の155.80付近を挟んだ推移が続き、155.79レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。1.0780近辺でほぼ横ばいでの推移が続き、続いてECB4月理事会の議事録が発表され、「見通し通りにいけば、6月会合での緩和政策を開始する可能性が高い」、「今回の会合では複数のメンバーが政策金利を引き下げる根拠が十分に得られたと確信」との文言が示されるも、織り込み済みからか、ユーロドルは反応薄で、その後1.0780レベルでNYオープン。午前中は1.0791まで上昇する場面も見られたが、その後FRB高官のタカ派発言を受け、1.0760まで反落。午後は週末を控え、値幅が限定的の中、1.0770近辺での小動きが続き、1.0771レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。